

4.3 為替ヘッジにかかるコスト

為替ヘッジのコストは内外の金利差

為替ヘッジは将来の為替レートを固定するもので、為替にかかるリスクをゼロにしてくれます。その代わりコストがかかり、為替ヘッジにかかるコストは内外の金利差で計算できます。

4.3.1 為替の基本

為替市場は、日々刻々とレートが変わっていきます。変動相場制といわれるものです。米ドルと円の取引は、世界中どこに行っても行われていますから、市場はほぼ1日中開いている状態といってもよいでしょう。為替のレートはすぐ変わってしまいます。

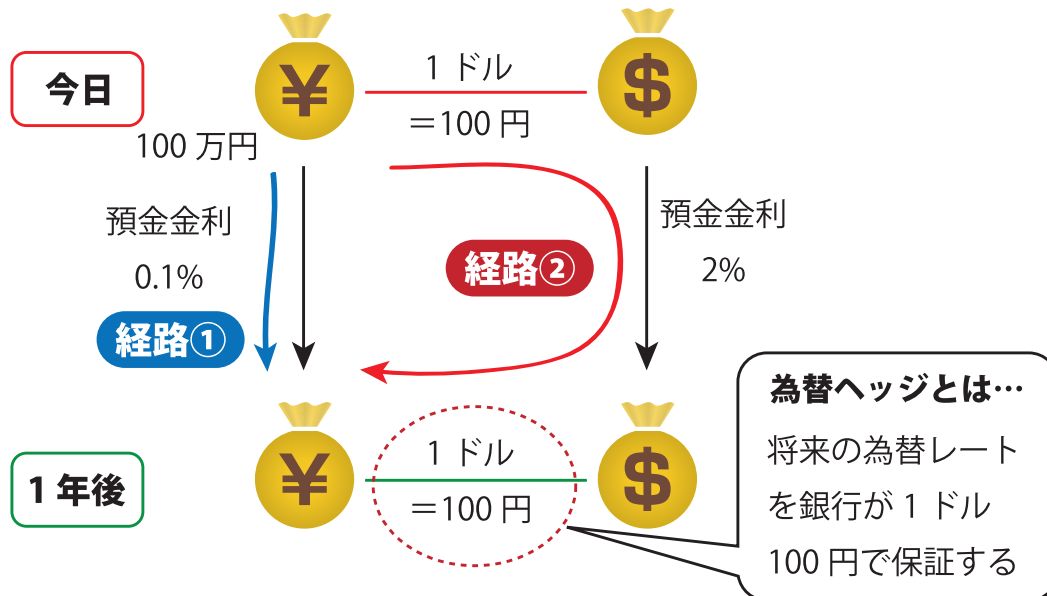
このすぐ変わってしまう為替レートを、一定の水準で保証しましょうというのが為替ヘッジです。外貨である米ドルを保有していて、円安になったら円に戻すときに利益が発生します。逆に、円高になっていると損失が発生します。つまり、為替にはリスクがあるのですが、そのリスクを回避できるのが為替ヘッジです。

4.3.2 為替ヘッジのコスト

図4.5を見ながら考えてみましょう。今日の対米ドルの為替レートは、「1ドル＝100円」です。手元に100万円あるとします。外貨に投資しないで、日本で定期預金に預けていたとします（経路1）。そうすると、 $100\text{万円} \times 0.1\% = 1,000\text{円}$ の利息が発生します。

一方、外貨に換えることを考えてみます。手数料や税金を無視すれば、100万円は1万ドルに換わります。そして、米国で定期預金に預けたとすれば、 $1\text{万ドル} \times 2\% = 200\text{ドル}$ の利息が発生します。「1ドル＝100

図 4.5 為替ヘッジのしくみ



円」で為替ヘッジしてあるとすれば、円に換えると、200ドル×100円＝20,000円の利益が発生します（経路2）。

このケースでは外貨投資したほうがお得になりますね。でも、為替ヘッジにはコストがかかります。そのコストは、このケースだと19,000円。だから、経路2を通ったときの収益は、20,000円－19,000円＝1,000円になってしまうのです。そう、経路1と同じになります。為替ヘッジのコストは、 $19,000円 = 100万円 \times (2\% - 0.1\%)$ と計算できるのです。

為替ヘッジのコスト

為替ヘッジのコスト = 元本 × (相手国の金利 - 日本の金利)